



オーストラリアワーキングホリデー

◆英語の勉強の仕方について◆

行けばなんとかなるとか思っていないませんか？

英語に対して・・・

グサッてきた人が多いんじゃないでしょうか？

多くの人はこのように考えて渡航されています。しかしこういう人に限ってどうにかなっていないのが現実です。現地に行った時に初めて「英語力の無さ」に気づき、英語の勉強をはじめて仕事も探しつつ・・・というのは結構無理があります。

個人の行動力や精神力によります。僕の場合は仕事を紹介してもらったことをしましたが、仕事の紹介も英語力がなければしてもらえません。たとえお金を払ったとしても登録自体がさせてもらえませんから本当にとこう前の英語力は必要です。

たとえ語学学校に行ったとしても英語というのは身につけません。何度も言いますが、

英語の勉強は

実際には「**どうにかするという気概**」が必要です。

あくまで僕のように語学力がない人間が無理やり渡航するというシチュエーションに限定します。僕もワーキングホリデー前は図書館に引きこもって英語の勉強を8ヶ月していましたよ？そのかいなく、TOEIC320 ⇒ 330 という残酷なまでの結果に対してさらに追い打ちをかけてきたのが、青年海外協力隊の落選結果です。

僕の場合は日本にいた時に自分が何をやりたいのか分からずにオーストラリアに逃げました。

でもオーストラリアでの戦いはあります。

日本から逃げてもオーストラリアで叩きのめされて帰国したら元も子もないですよ？

そうならないために英語圏でも折れない心をもっておきましょう。

1 語学力のつけ方(渡航前)～まずやめること



- TOEIC の勉強 •詰め込むだけの勉強 •関係代名詞をはじめてから使おうとすること
- 英検の勉強 •三単現の S を気にしすぎること •「OZ イングリッシュが・・・」と気にすること
- 英語を「習うこと」

上記の 7 つのことをまず辞めてから勉強に取り組んでももらいたいです。

多くの渡航者の方は英語が流暢に、ぺらぺらになることが目標ですが一年では無理です。もし片方の親がハーフで英語が幼少から聞けるような環境で育ったハーフの方であれば別です。

そして 2 つ自覚することがあります。それは

日本では「日本語ベースでの英語の勉強が可能」ということ

海外では「日本語ベースでの英語の勉強は不可能」ということをまず自覚すること。

この二つです。

さらに自分自身のいる位置(英語のスコアなど)から目標までの距離を図ることを明確にうけいれて、

自分が英語を勉強したあとで何をどうしたいのか？

をはっきりさせてから行くことです。

私の場合は渡航前の段階で TOEIC 320 点、図書館で 8 ヶ月勉強しても 330 点にしかならなかったわけですから。

やるべきこと

- ・中学生の 1500 円で買える参考書をやり込む
- ・参考書はケンブリッジの初級が望ましい
- ・IELTS のジェネラルを勉強する
- ・コロケーションを意識してむやみに単語を覚えない
- ・自分が興味が有り、話の結末がわかっているもののバイリンガル版などの勉強をする

(例) アメコミ版 ナルト、ワンピースなどです。

- ・ユーチューブで自分が興味がある英語音声の動画を見る

(検索キーワードは 英語 教材 など。あとはディズニーの昔の英語版などは聞きやすいです)

僕はゲームが好きだったのでファイナルファンタジーシリーズ、バイオハザードシリーズの動画を見ていました。スピーキングスピードも実は遅く聞きやすいです。動画ごとに出てくる和訳の字幕が実は

- ・レンタル DVD で一話を 4 回見る。

(英語音声、字幕なし⇒英語音声＋英語字幕⇒日本語音声英語字幕⇒英語音声のみをもう一度)

語学学校はオーストラリアの場合は平均一週間通うと 320 ドルです。3 万 2000 円なら日本の語学学校は 3 ヶ月通えます。

しかも都内の大学の国際交流センターは一般人にも開放しているところがあるのでそこで日本がわかる留学生と英語のレッスンを無料でできるので節約しようと思えばいくらでもできます。

むしろ語学学校に 320 ドル払って **Elementary (三単元の S という中学一年生の段階から始まるクラス)** から始まる費用対効果がわるくおもいます。

とにかくストレスなく、自分が好きな、興味があるドラマやアニメを英語の字幕や音声で聞くこと。

あとはインターネットラジオがあるのでそれらを流し聞きする。これだけでも耳が慣れてきます。最初のうちは聞けても単語の意味がわかりませんので聞けても意味が分かりますが、それと並行して単語の意味の勉強をしていけば徐々にわかるようになってきます。

http://success-english.net/internetradio_news.htm ← 例) インターネットラジオ

※コロケーションとは？

コロケーションとはネイティブが日常使っている「ジェネラルイングリッシュ」(ネイティブの日常英会話)になります。

日本人でも日常で「なんか今の店員の態度ってイラッとしたね・・・」とかそんな会話をします。

ただそこを「今のこの企業の従業員の態度は憤りと嫌悪を感じましたので改めてもらいたい」

などとは言いません。後者のことは政治家のような職についている人が使う言葉ですよ？日本人が使う日常会話も英語の中には存在します。

コロケーションとは「日常で使う、最もありふれた言葉の言い回し方」で、自然な言葉ののつながり方です。単語だけを辞書で調べて口に出してしまいがちな日本人は

。

英検やTOEICで出てくる文法や単語は実は地元のネイティブにとってはほとんどが非日常的な単語や言い回しになっているので、これらをベースで覚えるとつたわりにくいです。

call off や suspend はどちらも中止という意味ですがよくよく英語の概念からすれば違います

call off 中止であり、その日のそれは終わり

suspend 一時中止でありつづくかのうせいがある、というような違いがあるので辞書は英語の概念までは訳すことができていないのでそこを理解することが重要。

英語の中でよく出てくる take, come, get, put, などの言葉はこの言葉とほかの語を組み合わせるとすべての言い回しを言うことができ、弁護士、政治家など、高度な言葉の語彙が必要とされる職業についている OZ でない限り難しい言葉、特に英検 2 級行こうで出てくる単語はわかりません。

英検の参考書は渡航してホストファーザーに見せてみましたが、準 2 級がみんなわかるラインです。2 級から徐々にネイティブもわからないようになってきました。

だから途中で僕は準 1 級の教科書をやらずに捨てています。2 級もいりません。勉強するとすれば ILTS のジェネラルが一番簡単出すしついていけなくて挫折もしづらいです。

とにかく口に出すことですし、完璧にしてからという完璧主義をなくしてどんどん喋っていくこと。

そして自分がこういう場面に遭遇したらなんて言おう？なんていわれるかな？というようなシチュエーションをみづから作って辞書を引いてシュミレーションしてみるといいです。実際にそのようなことになったことが何度もあります。

文型は9つだけを覚えればいいです。

文の種類は「現在」「過去」「未来」がありそれぞれ4つずつ文の形があるんです。

「基本」「進行」「完了」「完了進行」の四つが上記の4つの分類のなかにありますから計12の文の型になります。

そして最後の「完了進行」はネイティブがめったに使わないので最初は使わないでいいですし、ネイティブもわかりません。インド人は合理的でこのように覚えていますし、シェアメイトはこの覚え方でIELTS7.5はとって移民になっていました。(彼はインド人です)

現地での TOEIC への評価について

私がケアンズで「IELTS」英語テストを受けたときに、Caplan English School (カプラン) でケンブリッジや IELTS のテストをコーディネートしている方に TOEIC の印象を聞いてみました。

すると開口一番からこのような質問が来ました。

「なぜ日本人はコミュニケーション能力を図るテストなのにこの TOEIC ではスピーキングのテストがなく、しかもチェックだけでわからなくても正解してしまうようなもので英語の能力を図るのか？ 実際にはスコアを高得点で持っていたとしても全く喋れない人は見えましたから」

オーストラリアで勉強をする、仕事を探すこととつながってきますが、もしできれば日本にいるうちに IELTS のスコアを持っていったほうがいいです。履歴書に「IELTS」という資格があれば雇う側も英語の能力が把握しやすく、安心です。

移民文化なので雇う側が移民だった場合、その人も同じ IELTS を取得しているのでコミュニケーションの能力がわかりやすいのも特徴です。

※メールのコミュニケーションについて

オーストラリアのプリペイド携帯はメールは一文字ごとに課金されるのでみんな極力使わないか、略文字を使っています。

例えばよく面接の合格のメールにも書かれてきますが[as soon as possible](できるだけ早く)という言葉や [you]をよくみんな省略してこのように使います

you⇒u

as soon as possible ⇒ ASAP

これらはよく使いますのでフェイスブックなどでともだちになったら、英文でのやりとりになるので略す文字にいきなり慌てるではなくて、むしろこの略文字話のネタにして勉強する+友達と話すということに結びつけてもいいと思います。

◆渡航前になるべく英語に慣れておくために格安で英語を勉強しよう！◆

発普及員			
教員免許種類		取得年月日	
英語	(題学力目安) A B C D	(資格名称) toeic	(320)
() 語	(題学力目安) A B C D	(資格名称)	()
() 語	(題学力目安) A B C D	(資格名称)	()
資格名称 (題、点数までお書きください)			

(僕の渡航前の TOEIC のスコア。スコアの現本は JAICA に送ってしまったために応募用紙で)

・英会話学校は最初からプライベートではなく、グループレッスンからはじめる方が無難

あくまで僕の英語力は渡航前 TOEIC 320⇒ IELTS 5.0 という結果です。それほどしゃべれるという部類ではないですが、現地でローカルの仕事に就き、クビにならない程度にネイティブの人達と働くことができるという具合です。

もともと TOEIC のスコアは低かったのですが「**ガツガツしゃべる**」という姿勢があったためになんとかクビに行けずに行けたのかと思っています。しかしこの商の最初のページにあった写真のようにちゃんとわからない単語はメモ帳にメモして次の日にはわかるようにしてあったんです。

目からウロコの魔法がなくてもうすアけないです。特に僕のような人間に関してはこういうことが必要です

英語ができるかできないかというのはワーキングホリデーにおいてはすべてが英語力+しゃべろうとする姿勢に充実度がついてきますのでなるべく日本にいるうちに英語力をつけてください。もっとワーキングホリデーが楽しくなりますから。